

平面図

S=1:500

(一) 下原大屋(停)線 上田市下郷~小井田

下郷工区

歩道詳細設計延長 L=437.7m

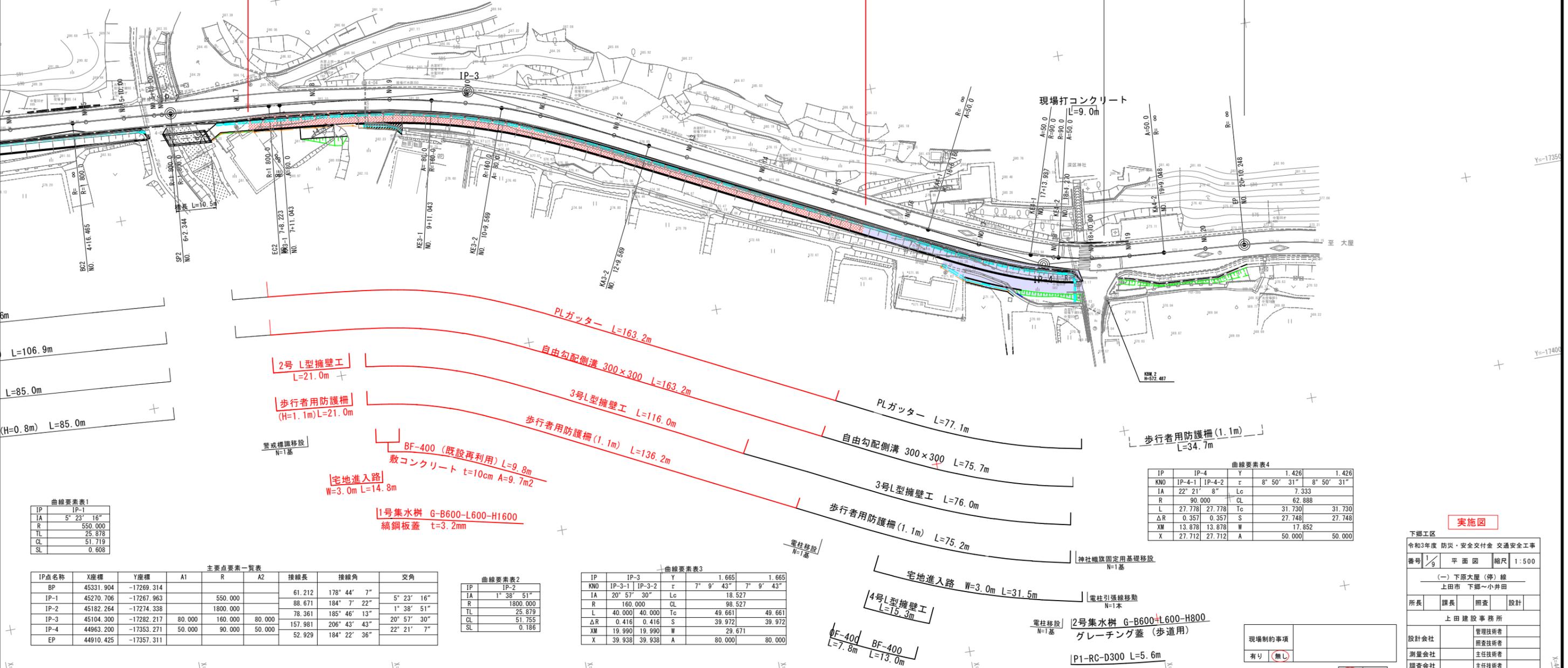
基準点座標

点名	X座標	Y座標
3-01	45471.175	-17322.111
3-02	44948.519	-17364.826
4-01	45317.682	-17274.663
4-02	45230.632	-17266.192
4-03	45183.835	-17279.235
4-04	45130.769	-17275.324
4-05	45060.649	-17309.283
4-06	44989.721	-17334.413

法留重力式擁壁
L=19.0m

R3 歩道設置工 L=163.2m W=2.5m

R2 歩道設置工 W=2.5m



曲線要素表1

IP	IP-1	Y	1.426	1.426
IA	5° 23' 16"	r	8° 50' 31"	8° 50' 31"
R	550.000	Lc	7.333	
TL	25.878	CL	62.888	
CL	51.719	Tc	31.730	31.730
SL	0.608	ΔR	0.357	0.357
		S	27.748	27.748
		W	17.852	
		A	50.000	50.000

主要点要素一覧表

IP点名称	X座標	Y座標	A1	R	A2	接線長	接線角	交角
BP	45331.904	-17269.314				61.212	178° 44' 7"	
IP-1	45270.706	-17267.963	550.000			88.671	184° 7' 22"	5° 23' 16"
IP-2	45182.264	-17274.338	1800.000			78.361	185° 46' 13"	1° 38' 51"
IP-3	45104.300	-17282.217	80.000	160.000	80.000	157.981	206° 43' 43"	20° 57' 30"
IP-4	44963.200	-17353.271	50.000	90.000	50.000	52.929	184° 22' 36"	22° 21' 7"
EP	44910.425	-17357.311						

曲線要素表2

IP	IP-2	Y	1.665	1.665
IA	1° 38' 51"	r	7° 9' 43"	7° 9' 43"
R	1800.000	Lc	18.527	
TL	25.879	CL	98.527	
CL	51.755	Tc	49.661	49.661
SL	0.186	ΔR	0.416	0.416
		S	39.972	39.972
		W	29.671	
		A	80.000	80.000

曲線要素表3

IP	IP-3	IP-3-2	Y	1.665	1.665
KNO	IP-3-1	IP-3-2	r	7° 9' 43"	7° 9' 43"
IA	20° 57' 30"	Lc	18.527		
R	160.000	CL	98.527		
L	40.000	Tc	49.661	49.661	
ΔR	0.416	S	39.972	39.972	
XM	19.990	W	29.671		
X	39.938	A	80.000	80.000	

曲線要素表4

IP	IP-4	Y	1.426	1.426	
KNO	IP-4-1	IP-4-2	r	8° 50' 31"	8° 50' 31"
IA	22° 21' 8"	Lc	7.333		
R	90.000	CL	62.888		
L	27.778	Tc	31.730	31.730	
ΔR	0.357	S	27.748	27.748	
XM	13.878	W	17.852		
X	27.712	A	50.000	50.000	

実施図

下郷工区
令和3年度 防災・安全交付金 交通安全工事
番号 1/9 平面図 縮尺 1:500
(一) 下原大屋(停)線
上田市 下郷~小井田

所長	課長	調査	設計
上田建設事務所			
設計会社	管理技術者	調査技術者	
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

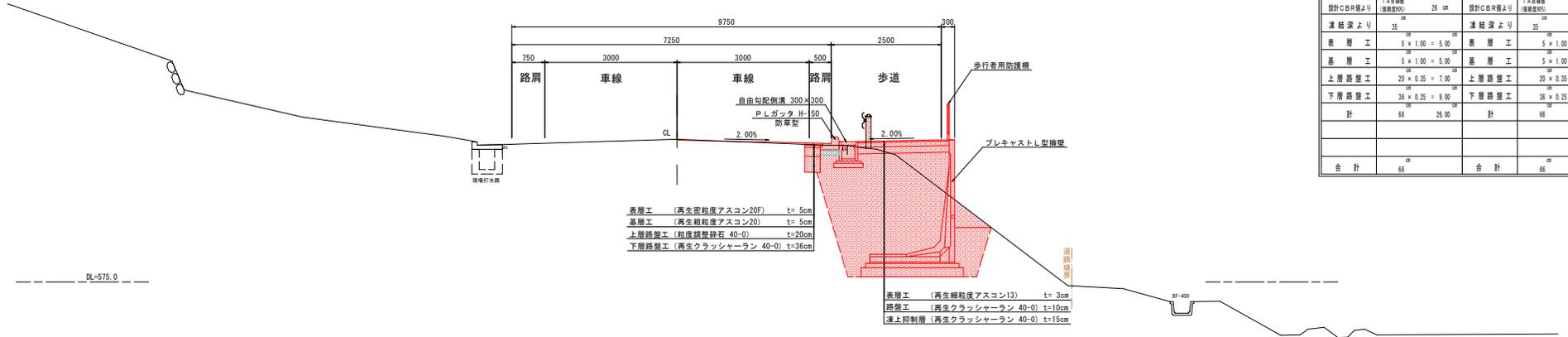
現場制約事項
有り (無し)

関係地権者等との調整事項 (有り) 無し

標準横断図 S = 1:50

NO. 13

GH=578.22
FH=578.20



表層工 (再生密粒度アスコン20F) t=5cm
 基層工 (再生粗粒度アスコン20) t=5cm
 上層路盤工 (粒度調整砕石 40-0) t=20cm
 下層路盤工 (再生クラッシャーラン 40-0) t=26cm

表層工 (再生細粒度アスコン13) t=3cm
 路盤工 (再生クラッシャーラン 40-0) t=10cm
 凍上初層 (再生クラッシャーラン 40-0) t=15cm

設計諸元表			
構造規格	3種3線	交通量	観測 H27 年 8,882 台/日
中員構成	0.75+1.00+1.00+1.50+1.50+1.75	設計交通量	計画 H42 年 8,720 台/日
設計速度	40 km/h	工種	道路改築
最小半径	90 m	現況	縦断勾配 5.52%
勾配	縦断 5.52% 横断 2.0%	市員	7.3~9.0m
地質		路面	アスファルト舗装
舗装厚決定根拠		舗装設計便覧 (H18)	
(1) 10年間に於ける平均の大型車 1日1方向交通量		48 台/日	(2) 交通区分 500以上 1,000未満
(3) 各層面のCBR値	No. 1	No. 2	No. 3
(4) 設計CBR値	2.0% (推定)	(5) 凍結深	50 cm
(6) 符號舗装計画	施工年度 年		
(7) 舗装厚 停止区間	(8) 舗装厚 橋上区間		
設計CBR値より	設計CBR値より	設計CBR値より	設計CBR値より
凍結深より	凍結深より	凍結深より	凍結深より
表層工	5 × 1.00 = 5.00	表層工	5 × 1.00 = 5.00
基層工	5 × 1.00 = 5.00	基層工	5 × 1.00 = 5.00
上層路盤工	20 × 0.25 = 7.00	上層路盤工	20 × 0.25 = 7.00
下層路盤工	36 × 0.25 = 9.00	下層路盤工	36 × 0.25 = 9.00
計	66	計	66
合計	66	合計	66

実施図

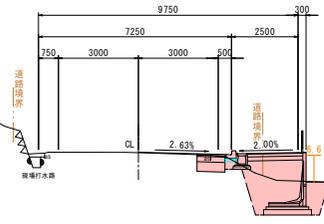
実施図			
令和3年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
橋長	標準横断図	縮尺	1:50
(一) 下段大堰 (停) 線			
上田市 下郷~小舟田			
所長	課長	調査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		調査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

横断面図(3) S=1:100

(一) 下原大屋(停)線 上田市下郷~小井田
下郷工区

NO. 8

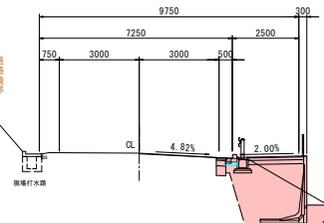
GH=583.15
FH=583.17



- C1: 床掘 4.7m2
- B: 歩道盛土 1.4m2
- B1: 路肩盛土 0.0m2
- B2: 埋戻し 2.9m2
- B3: 進入路盛土 1.3m2
- L: 盛土法面整形 1.1m
- L2: 基面整正 2.2m
- W: 車道不陸整正 1.1m
- W1: 車道舗装 1.10m
- W2: 歩道舗装 2.08m
- WO: 舗装取壊幅 0.5m

NO. 10

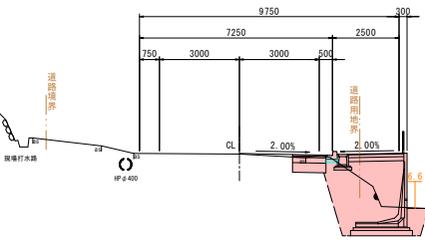
GH=581.15
FH=581.13



- C1: 床掘 6.9m2
- B: 歩道盛土 0.9m2
- B1: 路肩盛土 0.0m2
- B2: 埋戻し 4.8m2
- L: 盛土法面整形 0.0m
- L2: 基面整正 2.2m
- W: 車道不陸整正 0.4m
- W1: 車道舗装 0.40m
- W2: 歩道舗装 2.08m
- WO: 舗装取壊幅 0.5m

KA. 3-1 (NO. 7+11.04)

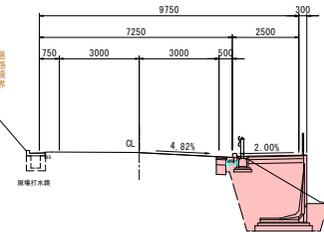
GH=583.62
FH=583.64



- C1: 床掘 6.6m2
- B: 歩道盛土 2.4m2
- B1: 路肩盛土 0.0m2
- B2: 埋戻し 4.4m2
- L: 盛土法面整形 0.0m
- L2: 基面整正 2.2m
- W: 車道不陸整正 1.3m
- W1: 車道舗装 1.30m
- W2: 歩道舗装 2.08m
- WO: 舗装取壊幅 0.5m

KE. 3-1 (NO. 9+11.04)

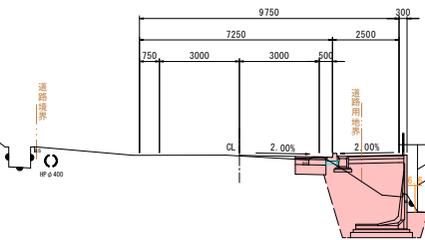
GH=581.59
FH=581.58



- C1: 床掘 6.7m2
- B: 歩道盛土 1.1m2
- B1: 路肩盛土 0.0m2
- B2: 埋戻し 4.7m2
- L: 盛土法面整形 0.0m
- L2: 基面整正 2.2m
- W: 車道不陸整正 0.4m
- W1: 車道舗装 0.40m
- W2: 歩道舗装 2.08m
- WO: 舗装取壊幅 0.7m

EC. 2 (NO. 7+8.22)

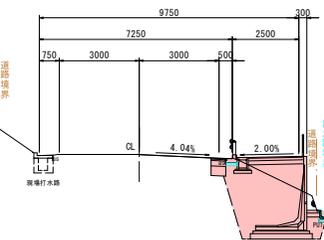
GH=583.77
FH=583.79



- C1: 床掘 7.1m2
- B: 歩道盛土 2.0m2
- B1: 路肩盛土 0.0m2
- L: 盛土法面整形 0.0m
- L2: 基面整正 2.3m
- W: 車道不陸整正 1.1m
- W1: 車道舗装 1.20m
- W2: 歩道舗装 2.08m
- WO: 舗装取壊幅 0.5m

NO. 9

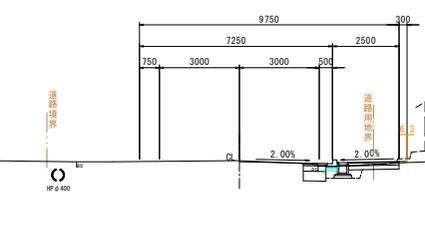
GH=582.14
FH=582.13



- C1: 床掘 8.2m2
- B: 歩道盛土 1.2m2
- B1: 路肩盛土 0.0m2
- B2: 埋戻し 5.5m2
- L: 盛土法面整形 0.0m
- L2: 基面整正 2.3m
- W: 車道不陸整正 0.5m
- W1: 車道舗装 0.60m
- W2: 歩道舗装 2.08m
- WO: 舗装取壊幅 0.5m

NO. 7

GH=584.18
FH=584.14



- C1: 床掘 1.4m2
- B: 歩道盛土 0.0m2
- B1: 路肩盛土 0.0m2
- B2: 埋戻し 0.3m2
- L: 盛土法面整形 0.0m
- L2: 基面整正 0.7m
- W: 車道不陸整正 0.9m
- W1: 車道舗装 0.90m
- W2: 歩道舗装 1.90m
- WO: 舗装取壊幅 0.6m

↓ No. 6+14.2

注記) 神川沿岸土地改良区において
NO. 9+13.5道路横断面所から
NO. 9+3.8集水溝までの区間を
BF-400に改修する予定がある。
破線水路は改修予定のBF-400断面である。

実施図

下郷工区			
令和3年度 防災・安全交付金 交通安全工事			
番号	横断面図(3)	縮尺	1:100
(一) 下原大屋(停)線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	副長	設計
上田建設事務所			
設計会社	管理技術者	監査技術者	
測量会社	主任技術者	主任技術者	
調査会社	主任技術者	主任技術者	

注記) 用水路敷設替えは既設再利用を原則とする。
破損等により利用できない場合は監督員と対応を協議する。

注記) 道路境界線は公園より図上計測

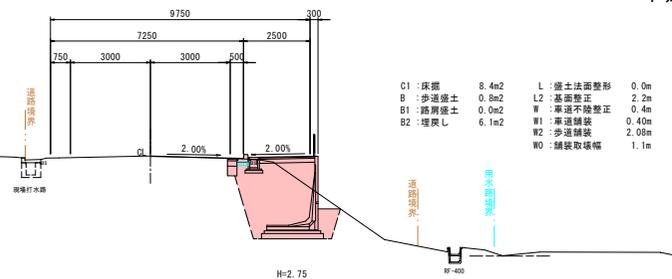
NO. 7~NO. 10

横断面图(4) S=1:100

(一) 下原大屋(停)線 上田市下郷~小井田
下郷工区

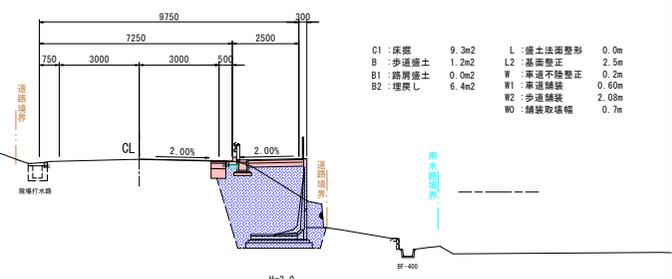
KA. 3-2 (NO. 12+9. 57)

GH=578. 73
FH=578. 71



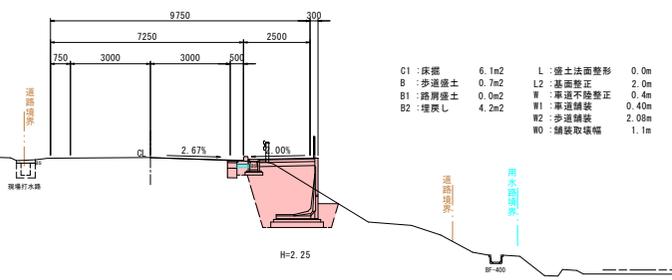
NO. 15

GH=576. 22
FH=576. 23



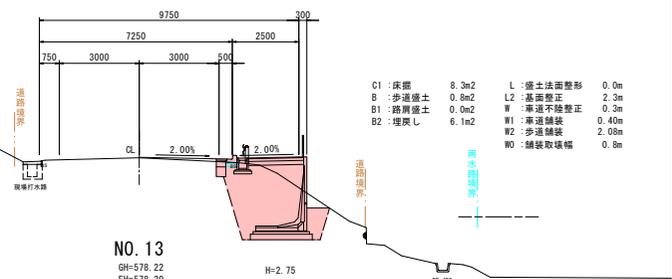
NO. 12

GH=579. 19
FH=579. 18



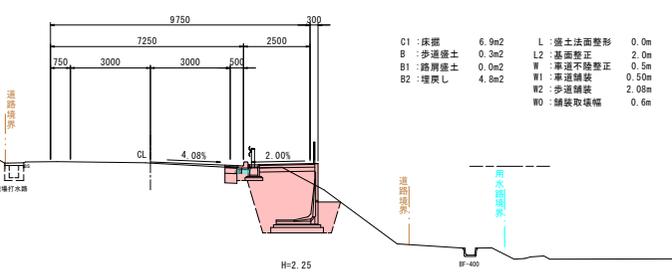
NO. 14

GH=577. 20
FH=577. 22



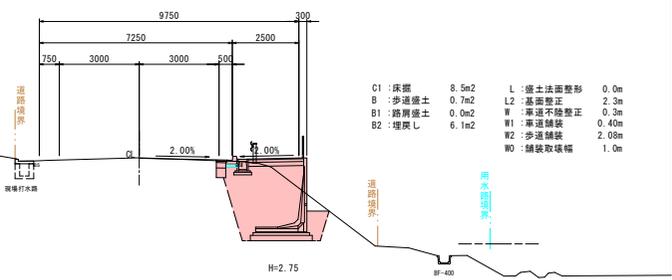
NO. 11

GH=580. 12
FH=580. 16



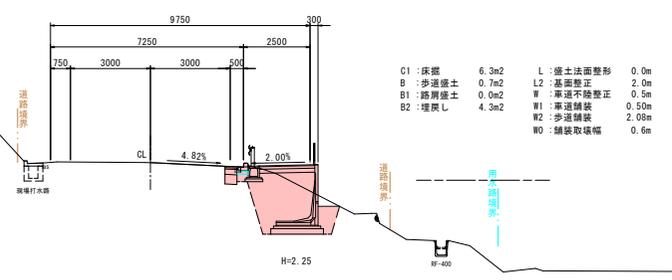
NO. 13

GH=578. 22
FH=578. 20



KE. 3-2 (NO. 10+9. 57)

GH=580. 65
FH=580. 66



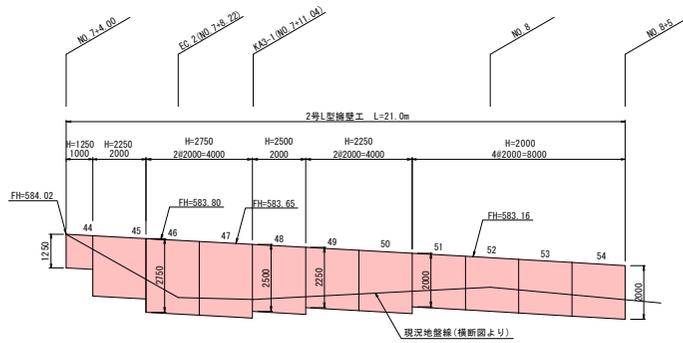
実施図

令和3年度 防犯・安全交付金 交通安全 工事			
番号	5/6	横断面図(4)	縮尺 1:100
(一) 下原大屋(停)線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	副長	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		調査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

注記) 道路境界線は公園より图上計測

L型擁壁 展開図 (2) S=1:100

2号L型擁壁工展開図



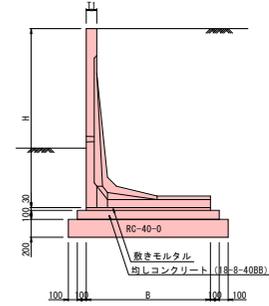
DL=580.00

DL=580.00

2号L型擁壁数量表

H (mm)	L (m)	本数 (本)
1250	1.0	1
2000	2.0	4
2250	2.0	3
2500	2.0	1
2750	2.0	2

標準断面図 S=1:30



道路用L型擁壁 基礎工数量表 (参考値)

H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量 (延長10m当り)				備 考
					敷きモルタル (m ²)	コンクリート (m ²)	均し型砕 (m ²)	基礎材 (m ²)	
1250	Aタイプ	1000	100	957	0.300	1.200	2.00	14.00	—
2000	Aタイプ	1400	120	1785	0.420	1.600	2.00	18.00	—
2250	Aタイプ	1575	120	2144	0.473	1.775	2.00	19.75	—
2500	Aタイプ	1750	120	2481	0.525	1.950	2.00	21.50	—
2750	Aタイプ	1925	120	2966	0.578	2.125	2.00	23.25	—

(参考図)

実施図

下郷工区

令和3年度 防災・安全交付金 交通安全 工事

備考 ④ L型擁壁 展開図 (2) 縮尺 図示

(一) 下郷大壁 (傍) 線

上田市 下郷一小井田

所長 課長 調査 設計

上田建設事務所

設計会社 管理技術者

測量会社 調査技術者

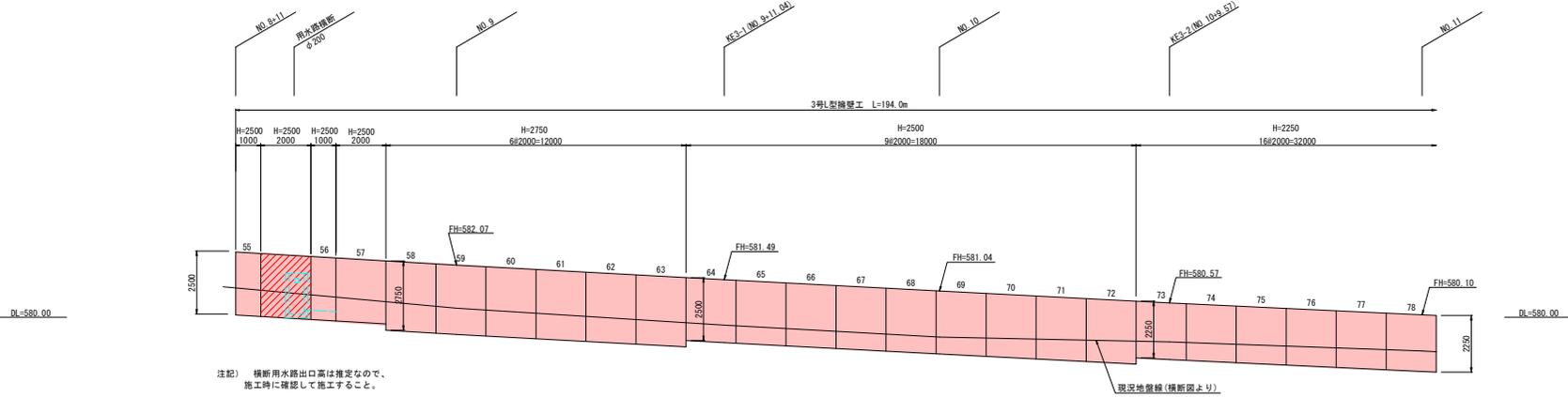
調査会社 主任技術者

主任技術者

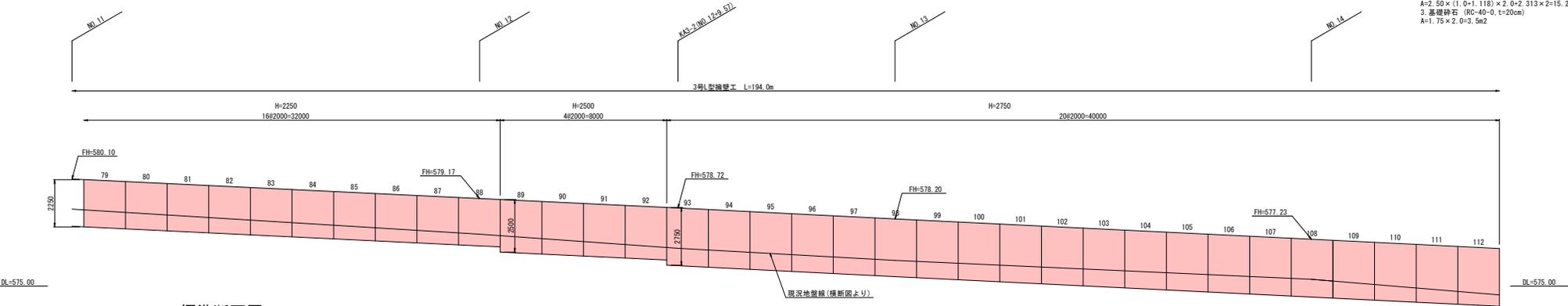
- 注記) 1. 施工時に基礎地盤の支持力を平板載荷試験等により確認すること。
 2. 基礎地盤の支持力は、300kN/m²を基本とする。
 3. 支持力が出ない場合は、対応を監督員と協議すること。
 4. 直高の低いL型擁壁は、地盤反力度が小さいので支持力が小さくても許容値を満足する。
 5. L型擁壁の寸法、基礎工数量は参考値である。

L型擁壁 展開図(3) S=1:100

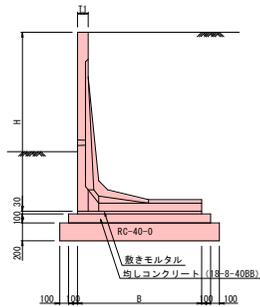
3号L型擁壁工展開図 その1



3号L型擁壁工展開図 その2



標準断面図 S=1:30



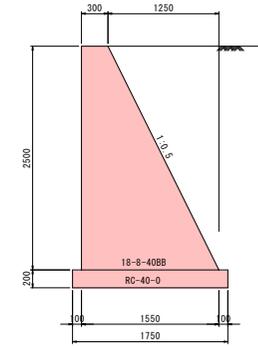
道路用L型擁壁 基礎工数量表 (参考値)

H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量 (延長10m当り)				備考
					敷きモルタル (m ²)	コンクリート (m ³)	均し堅持 (m ²)	基礎材 (m ²)	
2250	Aタイプ	1575	120	2144	0.473	1.775	2.00	19.75	—
2500	Aタイプ	1750	120	2481	0.525	1.950	2.00	21.50	—
2750	Aタイプ	1925	120	2966	0.578	2.125	2.00	23.25	—

3号L型擁壁その1・2数量表

H (mm)	L (m)	本数 (本)
2250	2.0	16
2500	1.0	2
2500	2.0	14
2750	2.0	26

重力式擁壁断面図 S=1:30



現場打重力式擁壁数量計算 (H=2.5m, L=2.0m)

- コンクリート (18-8-4088)
 $A=1/2 \times (0.30+1.55) \times 2.50=2313\text{m}^2$
 $V=2.313 \times 2.0=4.63\text{m}^3$
- 型枠
 $A=2.50 \times (1.0+1.118) \times 2.0=2.313 \times 2=4.63\text{m}^2$
 $A=1.75 \times 2.0=3.5\text{m}^2$
- 基礎砕石 (RC-40-0, t=20cm)
 $A=1.75 \times 2.0=3.5\text{m}^2$

(参考図)

実施図

令和3年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	工種	縮尺	図示
6	L型擁壁 展開図(3)	縮尺	図示
(一) 下原大塚(停) 線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	副長	設計
上田建設事務所			
設計会社	管理技術者	監理技術者	
測量会社	主任技術者	主任技術者	
調査会社	主任技術者	主任技術者	

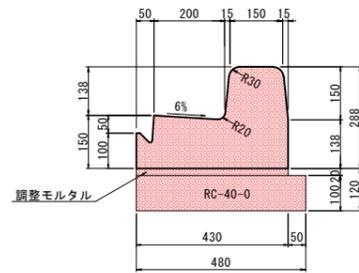
- 施工時に基礎地盤の支持力を平板載荷試験等により確認すること。
- 基礎地盤の支持力は、300kN/m²を基本とする。
- 支持力が出ない場合は、対応を監督員と協議すること。
- 高さの低いL型擁壁は、地盤反力係数が小さいので支持力が小さくても許容値を満足する。
- L型擁壁の寸法、基礎工数量は参考値である。

構造図

用・排水路 S=1:10

PLガッター（防草型）

(B200-H150-T150)

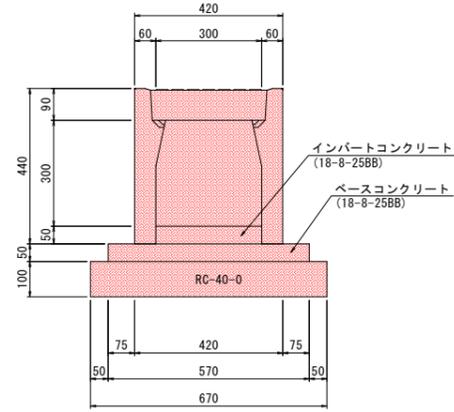


10m 当り 数量表

項目	規格	単位	数量
調整モルタル	1:3	m ³	0.086
基礎砕石	RC-40-0 t=10cm	m ²	4.8
PLガッター(防草型)	B200-H150-T150	m	10.0

自由勾配側溝 縦断用

(300×300)

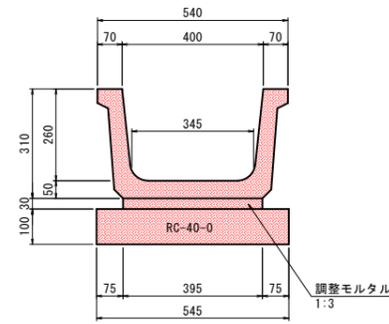


10m 当り 数量表

項目	規格	単位	数量
インパットコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.15
ベースコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.29
基礎砕石	RC-40-0 t=10cm	m ²	6.7
型枠		m ²	1.0
グレーチング蓋	歩道用300型 l=1.0m	枚	1
コンクリート蓋	歩道用300型 l=0.5m	枚	8
自由勾配側溝	縦断用 300×300	m	10.0

ベンチフリューム

(BF-400・既設再利用)

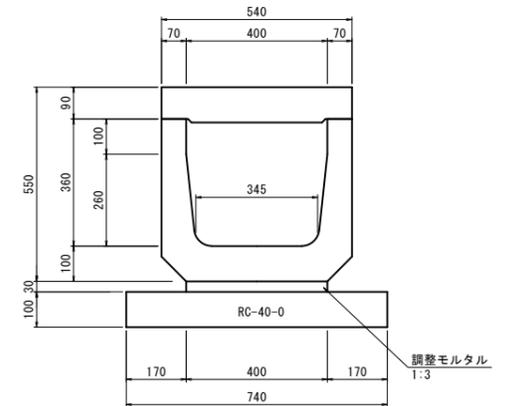


10m 当り 数量表

項目	規格	単位	数量
調整モルタル	1:3	m ³	0.12
基礎砕石	RC-40-0 t=10cm	m ²	5.5
ベンチフリューム	BF-400 (既設再利用)	m	10.0

横断フリューム

(OF-400・既設再利用)

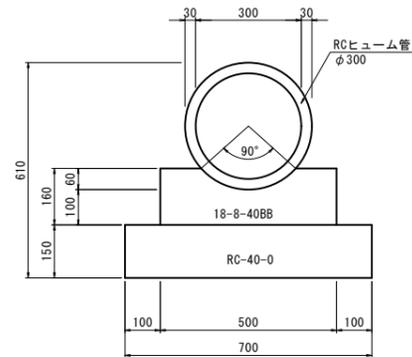


10m 当り 数量表

項目	規格	単位	数量
調整モルタル	1:3	m ³	0.12
基礎砕石	RC-40-0 t=10cm	m ²	7.4
横断フリューム	OF-400 (既設再利用)	m	10.0
横断フリューム蓋	OF-400用蓋 (既設再利用)	m	10.0

ヒューム管暗渠（90° 固定基礎）

(P1-RC-D300)



10m 当り 数量表

項目	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.688
型枠		m ²	3.2
基礎砕石	RC-40-0 t=15cm	m ²	7.0
ヒューム管	RC-φ300	m	10.0

(参考図)

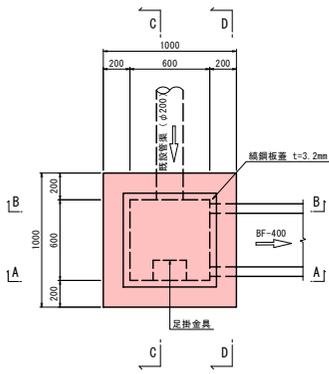
実施図			
下郷工区			
令和3年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	8/9	構造図	縮尺 1:10
(一) 下郷大屋(俣)線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	調査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		調査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

集水樹構造図

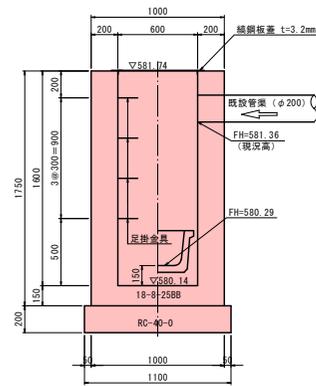
1号集水樹 S=1:20

2号集水樹 S=1:20

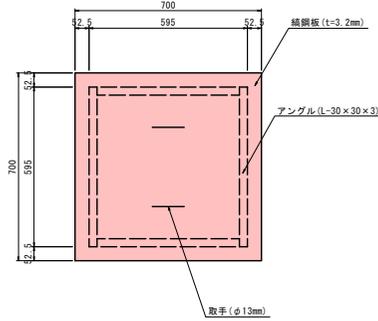
平面図



C-C D-D

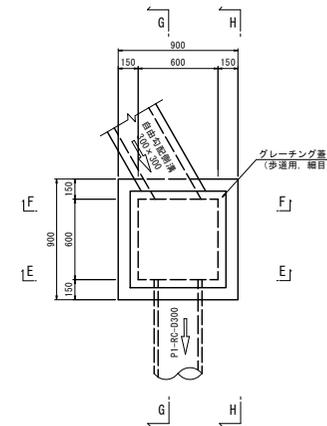


鋼鋼板蓋詳細図 S=1:10

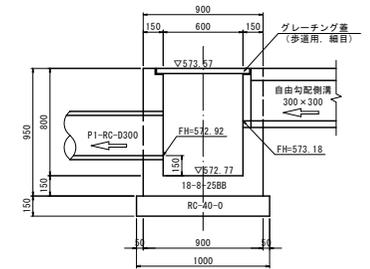


鋼鋼板蓋 700×700
 鋼鋼板 W=0.70X0.70X26.79= 13.13 kg
 アングル(L-30×30×3)
 $W = (0.535X2 + 0.595X2) X 1.36 = 3.07 \text{ kg}$
 取手(φ13)
 $W = 0.31X2 = 0.62 \text{ kg}$
 蓋合計 ΣW= 13.13+3.07+0.62 = 16.82 kg

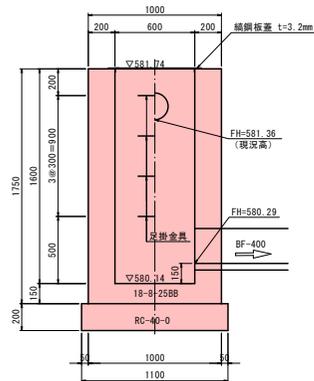
平面図



G-G H-H



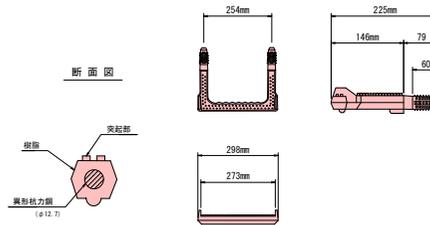
A-A B-B



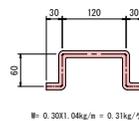
1号集水樹数量計算

- コンクリート(18-8-25B8)
 $V = 1.00X1.00X1.75 - 0.60X0.60X1.60$
 $- (\pi/4X0.25^2 X 2) - (1/2X(0.48+0.445)X0.31X0.20) = 1.14 \text{ m}^3$
- 型枠
 $A = 1.00X1.75X4 + 0.60X1.60X4$
 $- (\pi/4X0.25^2 X 2) - (1/2X(0.48+0.445)X0.31X2) = 10.5 \text{ m}^2$
- 基礎砕石(RC-40-0, t=20cm)
 $A = 1.10X1.10 = 1.2 \text{ m}^2$
- 鋼鋼板蓋
 ・鋼鋼板(t=3.2mm) W= 13.1 kg
 ・アングル(L-30X30X3) W= 3.1 kg
 ・取手(φ13mm) W= 0.6 kg
- 足掛金具(二次製品)
 $N = 4 \text{ 本}$

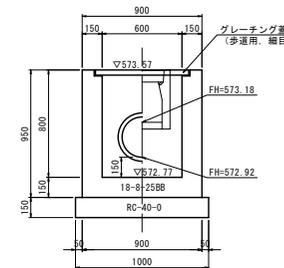
足掛金具詳細図(参考図) S=1:10



取手構造図 S=1:5 (φ13mm)



E-E F-F



2号集水樹数量計算

- コンクリート(18-8-25B8)
 $V = 0.90X0.90X0.95 - 0.60X0.60X0.90$
 $- (0.42X0.44X0.15) - (\pi/4X0.36^2 X 2) = 0.44 \text{ m}^3$
- 型枠
 $A = 0.90X0.95X4 + 0.60X0.80X4$
 $- (0.42X0.44X2) - (\pi/4X0.36^2 X 2) = 4.8 \text{ m}^2$
- 基礎砕石(RC-40-0, t=15cm)
 $A = 1.00X1.00 = 1.0 \text{ m}^2$
- グレーチング蓋(落し込式, 600X600, 歩道用, 編目)
 $N = 1 \text{ 枚}$

実施図

下郷工区			
令和3年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	9/	構造図	縮尺 図示
(一) 下郷大塚(停)線			
上田市 下郷一小野田			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	